

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域に、の「関心・意欲・態度」の観点を設けています。該当する領域において、に示したような「関心・意欲」の見える言語活動を行ってれば、加点するという考え方で配点しています。

また、大問②には、言語事項をまとめて出題していますが、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の領域においても、関連する言語事項の問題を設定しています。

言語事項														2	話すこと 聞くこと						1	大問・領域
(5)		(4)	(3)		(2)					(1)					(4)	(3)	(2)	(1)	中間			
			②	①	⑤	④	③	②	①	⑤	④	③	②	①				小問				
20		19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7		⑥	⑤	④	③	②	①	審議
														授業改善の視点 目的を明確にして話し手の反応や話の意図をとらえながら聞いたり、自分の考えを伝えるために効果的な構成メモを活用して話したりする言語活動を取り入れる。	○話を聞いて考えたことは明確でないが、分かったことを伝えようとしている。		○分かったことのみを述べている。 熊本県の水道水の約八十パーセントは地下水が使われています。全国平均の約二十パーセントを大きく上回っています。 熊本県には、水源が千か所以上あり、名水百選にも全国最多の合計八か所が選ばれています。 地下水を守るために、水田に水を張ったり、森に木を植えたりしている地域があります。 等		○水田の面積が減ってきていることを書いている。 水田の面積が減ってきていること 等		やや満足及び概ね満足できる解答状況	
																2				6		
ウ きく 米 重 修正 厚(い) 過(ぎる) 印刷 逆転 と(む) きんぞく きそく よ(る) しゅうき															○話を聞いて考えたことを、根拠を挙げて伝えようとしている。	○敬体の文末で話している。	○インタビューを通して考えたことを、具体的に述べている。 熊本の水道水の多くは、豊かな自然が育てた地下水です。水源の数も県内に千か所以上あるそうです。でも、その地下水が減ってきているところがあります。きれいでおいしい水を守るために、日ごろの水の使い方を一人一人が見直してみましよう。 等	イ	○水田が果たす役割と水田が減ってきていることを書いている。 地下水を蓄える役割を果たしてきた水田の面積が減ってきていること 等	○学習のテーマを書いている。 熊本(くまもと)のたからもの	十分満足できる解答状況	
2 1 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1																						3
20																25					合計	

[illegible]